

**製品名: DNA pol  $\epsilon$  4 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab10058**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、 $-20^{\circ}\text{C}$ で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:20000-1:40000
分子量	12kDa

**抗原情報**

遺伝子名	POLE4
別名	POLE4; DNA polymerase epsilon subunit 4; DNA polymerase II subunit 4; DNA polymerase epsilon subunit p12
遺伝子 ID	56655.0
SwissProt ID	Q9NR33
免疫原	抗血清はヒト POLE4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 61-110

**背景**

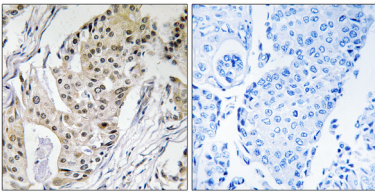
POLE4 はヒストンフォールドタンパク質であり、他のヒストンフォールドタンパク質と相互作用して、配列非依存的に DNA に結合

します。これらのヒストンフォールドタンパク質二量体は、DNAの転写、複製、およびパッケージングのためのより大きな酵素複合体を形成します。[OMIM提供、2004年4月],触媒活性: デオキシヌクレオシド三リン酸 + DNA(n) = ニリン酸 + DNA(n+1),機能: ポリメラーゼイプシロンが複製および / または修復機能を実行する上で役割を果たす可能性があります。 ,PTM: DNA損傷時に、おそらくATMまたはATRによってリン酸化されます。 ,サブユニット: POLE1、POLE2、POLE3、POLE4の4つのサブユニットで構成されています。POLE3と相互作用します。POLE3に結合すると、ポリメラーゼイプシロン p261 および p59 と会合して複合体を形成します。 ,

## 研究分野

プリン代謝、ピリミジン代謝、DNA複製、塩基除去修復、ヌクレオチド除去修復

## 画像データ



POLE4抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。